

投資者の皆様へ

2026年2月3日



商 号 SBIアセットマネジメント株式会社  
 金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第 311 号  
 加 入 協 会 一般社団法人投資信託協会  
 一般社団法人日本投資顧問業協会

## 2月3日の弊社ファンドの基準価額下落について

平素は弊社ファンドをご愛顧いただき、誠にありがとうございます。  
 以下のファンドの基準価額が2月3日に大きく下落しましたので、その要因等についてご報告申し上げます。

### 1.基準価額及び騰落率(2月3日)

ファンド名称	基準価額	前営業日比	騰落率
SBI・i シェアーズ・ゴールドファンド(為替ヘッジあり)	20,204 円	▲1,417 円	▲6.55%
SBI・i シェアーズ・ゴールドファンド(為替ヘッジなし)	25,995 円	▲1,726 円	▲6.23%

### 2.基準価額下落の主な要因及び今後の見通し

本レポートに記載のファンドに関する下落要因及び今後の見通しは以下の通りです。

当ファンドの基準価額に影響があったのは2月2日の海外市場となります。同期間、米ドル為替レートは、米ドル高円安、ドル円仲値で見て、2月2日から3日にかけて、仲値で155.29円から155.60円に動き(約0.2%上昇)しました。背景として、先月、次期FRB(連邦準備制度理事会)議長に指名されたケビン・ウォーシュ氏が金融緩和に積極的ではないと見られていたため、金利高止まり観測から米ドルレートが反転し、米ドル高が進んでいたことが挙げられます。

一方、金につきましては、数週間にわたる急騰(1月29日に過去最高値更新)により、高値警戒感も強まっております。金価格は、1月30日のNY金先物価格(中心限月)終値は1トロイ・オンスあたり4,745.10ドルとなり、前日比約11.4%下落しました。利益確定等の売りによる反落、ウォーシュ氏のFRB議長就任予定からのドル高、米長期金利上昇観測、などが要因と見られます。2月2日は、軟調な地合いが続き、4,652.6ドルとなり、前日比約2%下落しました。このような環境下、弊社ファンドが投資するロンドン上場のETFは、1月30日は約▲5.7%、2月

○本資料は、SBIアセットマネジメント株式会社が信頼できると判断したデータに基づき作成されておりますが、その正確性、完全性について保証するものではありません。また、将来予告なく変更されることがあります。○本資料中のグラフ、数値等は過去のものであり、将来の傾向、数値等を予測するものではありません。○投資信託は値動きのある証券に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、元本保証はありません。○投資信託の運用による損益はすべて受益者の皆様に帰属します。○お申込みの際には必ず投資信託説明書(交付目論見書)の内容をご確認の上、お客様自身でご判断ください。

2日は約▲6.5%となりました。これは、主に、ニューヨーク市場とロンドン市場の取引時間の違い(標準時の違い)によるものです。ロンドン市場はほぼ1日遅れでニューヨーク市場の1月30日の下落を反映した形となります。

2月2日は、フィラデルフィア半導体指数は約▲1.7%下落しました。S&P500種指数で見て、セクター(11分類)は、エネルギー、公益事業などの下落が大きくなりました。一方、生活必需品、資本財・サービスなどは比較的堅調でした。

S&P500種指数は同期間に約+0.5%、となりました。ダウ工業株30種平均は約+1.1%、ナスダック総合指数は約+0.6%、ナスダック100指数は約+0.7%、ラッセル2000種指数は約+1%、ラッセル2000種グロース指数は約+1%、となりました。米10年国債利回りは、2月2日は4.27%台と上昇しました。株式市場の投資家の不安心理を示すとされるVIX指数は、2月2日に16.34(1月30日:17.44)へ低下しました。WTI原油先物価格は約▲4.7%となりました。

今後の動向ですが、現状ウォーシュ氏は利下げには前向きと見られていますが、量的緩和等には慎重と見られており、今後の言動が注目されます。

金の需給面では、投機的な金需要が一部に見られる一方、宝飾品等実需、個人等のリスク分散等を目的とした購入、ETF投資、中央銀行の外貨準備の金購入なども拡大傾向にあると見られます。背景として、米中対立、国際緊張の激化等地政学リスクの上昇、世界的な物価高止まり、米国の政策への不透明感によるリスク分散ニーズ、などがあると考えます。米ドル、ユーロ、円等の主要通貨(法定通貨)の長期的価値への信頼の低下による金、銀、暗号通貨への資金配分の動きは、長期化すると考えられます。引き続き市場動向を注視してまいりたいと考えております。

以上

## 投資信託にかかるリスク

投資信託は、主に国内外の株式・公社債等値動きのある証券を投資対象としますので、組入株式の価格の下落や、組入株式の発行体の財務状況の悪化等の影響により、基準価額が下落し、その結果、大きく損失を被る場合があります。

また、投資信託は、それぞれの投資信託ごとに投資対象資産の種類や投資制限、取引市場、投資対象国等が異なることから、リスクの内容や性質が異なりますので、お申込みの際には必ず投資信託説明書(交付目論見書)の内容をご確認の上、お客様自身でご判断ください。

※投資信託はリスクを含む商品であり、運用実績は市場環境等により変動します。したがって元本保証はありません。

## お客様に直接・間接にご負担いただく費用等

(お買付時に直接ご負担いただく費用)

- お買付手数料 上限 3.85%(税抜 3.5%)

(途中解約時に直接ご負担いただく費用)

- 信託財産留保額 上限 0.5%

(保有期間中にファンドが負担する費用(間接的にご負担いただく費用))

- 信託報酬 上限 2.585%(税抜 2.35%)

※成功報酬制を採用する投資信託については、基準価額の水準等により報酬額が変動するため、上限等を示すことができません。

また、上記上限を超える場合があります。

● その他の費用

監査費用、有価証券売買時にかかる売買手数料、信託事務の諸費用等が信託財産から差引かれます。その他の費用は、監査費用を除き、運用状況等により変動するものであり、事前に料率、上限額等を示すことができません。

《ご注意》

上記に記載しているリスクや費用等につきましては、一般的な投資信託を想定しています。費用の料率につきましては、SBIアセットマネジメント株式会社が運用するすべての投資信託のうち、ご負担いただく費用における上限を記載しております。また、成功報酬を採用する投資信託については、基準価額の水準等により報酬額が変動するため、上限額を超える場合があります。投資信託にかかるリスクや費用は、それぞれの投資信託により異なりますので、お申込みの際には、必ず該当投資信託の投資信託説明書(交付目論見書)の内容をご確認の上、お客様自身でご判断ください。

## 投資信託ご購入の注意

- 投資信託をご購入の際は、必ず投資信託説明書(交付目論見書)をあらかじめ、もしくは同時にお受取りになり、内容をご確認ください。
- 投資信託は値動きのあるものであり、元本保証、利回り保証、及び一定の運用成果の保証をするものではありません。したがって、運用実績によっては元本割れする可能性があります。
- 投資信託の基準価額の下落により損失を被るリスクは、投資信託をご購入のお客様が負うこととなります。
- 投資信託は預金ではなく、預金保険の対象ではありません。
- 銀行など登録金融機関でご購入いただく投資信託は、投資者保護基金の支払対象ではありません。